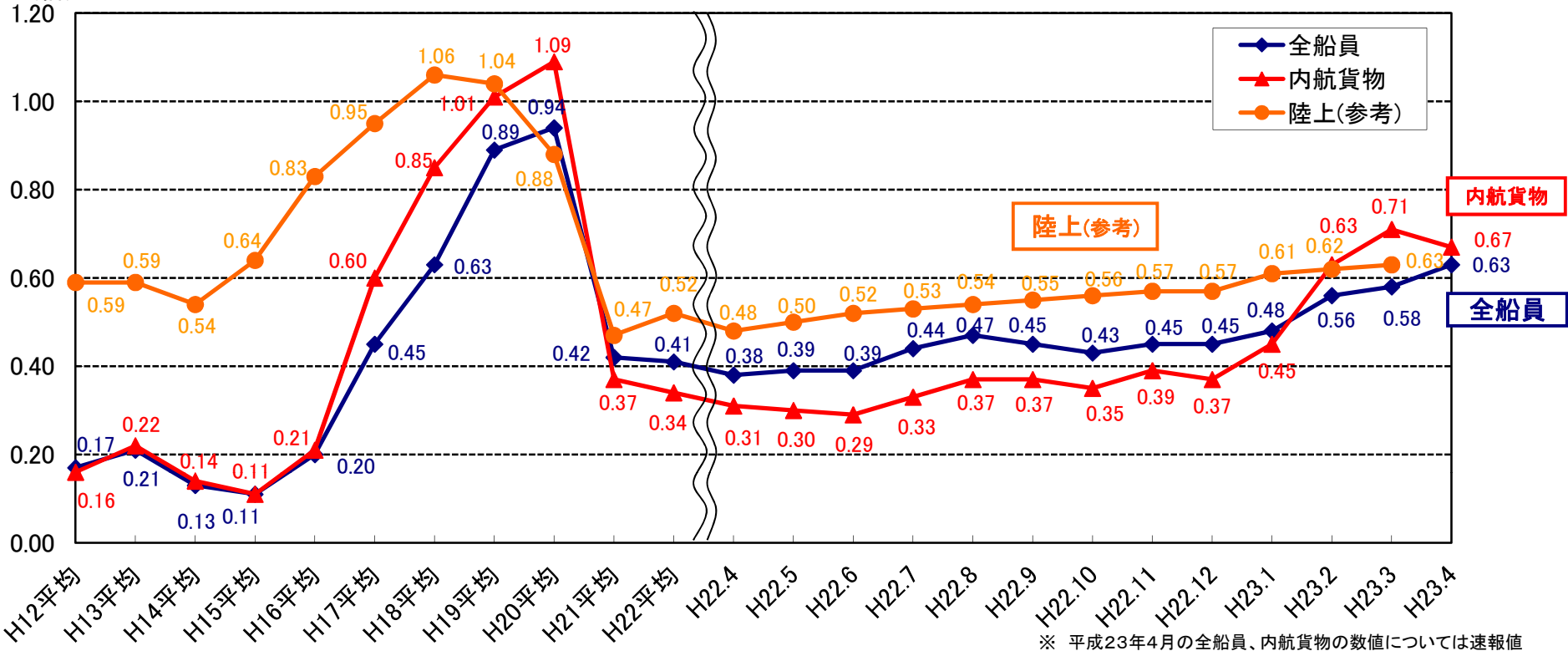


船員の有効求人倍率の推移

有効求人倍率
(倍)



※ 平成23年4月の全船員、内航貨物の数値については速報値

概況

- ・有効求人倍率については、若年船員不足等により、平成20年平均は1.09(内航貨物)と高い状況にあった。
- ・その後、平成20年秋の世界金融危機を契機に有効求人倍率は急落したが、平成22年6月の0.29(同)を底として、緩やかな回復傾向にある。
- ・毎年年初には4月期の採用のため求人活動が活発になり、有効求人倍率は上昇する傾向にある。平成23年3月は0.71(同)であり、平成22年平均より0.37ポイント上昇した。これは、景気回復により荷動きの増加を予測したため、例年以上に求人活動が活発に行われたものと思われる。
- ・内航貨物においては、3月から4月にかけて△0.04ポイントと小幅に低下している。これは例年の傾向であるが、今般の東北地方太平洋地震の影響の有無については、今後の傾向を見守る必要がある。